

	地区会議	質問・意見・要望	担当課	回答
1	金沢	旧金沢公民館をどうするかという意見集約を10月まで求められている。来年3月には解体の方向になるのではないかと考えているが、金沢本町地区は6町内あり、人口も金沢地区の半分を占める。もし解体したときは、この人たちがかなり不便になる。今年は選挙があるので投票所として使うため残すのだろうが、今後、投票所があつた場所に必要という考えはないのか。	選挙管理委員会事務局	合併時の99投票区を平成21年の見直しを行い、68投票区に再編し推移してきましたが、人口減や投票区ごとの有権者数の著しい不均衡(約3,000～約60人)により、更なる再編が必要な時期にきています。しかし、各地域局管内での調整は限界があるため、市域全体での再編を目指す必要があります。10月の選挙以降、FM計画や全体のバランスを勘案しながら具体的な検討に入る予定ですが、他地区と同様、金沢地区の投票区についても、地域の皆様と協議を行いながら方向性を検討していきたいと考えております。
2	金沢	今、問題になっている熊の被害で、金沢地区は、山にも近いのでこのまま秋になると大変な被害が出ないか心配するが、この対策はどのように捉えているのか。また、横手市では、補助的なものは一切出していない。湯沢市や大仙市は補助の予算がついている。県では870万円位の予算がついた。銃を買ったり狩猟の免除など横手市ではその方向はないのか。	農林整備課	当市では、免許取得や銃購入への助成は行っておりませんが、猟友会へ補助金を交付し活動を支援しております。このことは、近隣他市では行っていません。県の支援策創設を受け、今後、猟友会と協議し、猟友会運営と人員確保への支援策を検討してまいりたいと考えております。

	地区会議	質問・意見・要望	担当課	回答
3	黒川	<p>合併してから10年間経ってみて、どうしたら若者が定着すると思うか、どうしたら雇用が確保できるのか、お嫁さんをもって子供ができるのか、そういうことについて何か良い案を考えたことがあるか。</p>	経営企画課	<p>市といたしましては、人口減少が進むなか「若者の地元定着」、「雇用確保」、「結婚問題」については重要課題と認識しており、これらに対応すべく、事業を計画立案し取り組んできたところです。</p> <p>若者の地元定着を目指す対策としては、地元企業等の従業員に対し、人材育成に係る経費や就業の際に必要な資格の取得等に係る経費の補助（若年者等人材育成・地元定着支援事業）を行い、併せて新たに起業する際の支援体制を整えるとともに、企業誘致等にも取り組んでまいりました。</p> <p>また、子どものころから郷土に愛着と誇りを持ち、大人になってからも地元の良さを再認識して定住できるよう、小中学生が授業において総合的に活用できるテキストを作成（「横手を学ぶ郷土学」創設事業）し、活用していただいております。</p> <p>雇用確保を目指す対策としては、市内企業の求人状況や企業情報を総合的にお知らせするため、インターネット上で情報提供に努めてきたところです。</p> <p>結婚問題を解決する対策としては、独身男女が気軽に出会えるイベントを数回企画し、カップリングを図ったほか、秋田県結婚支援センターと連携し、市報やかまくらFMIにて入会案内・相談に関する情報を提供しております。その結果、平成28年度には市内会員の19.4%が成婚に至り、県内トップとなっております。この取り組みを継続的に行うことで少子化問題についても解決できるものと考えております。</p> <p>しかしながら、人口減少問題に対する施策については、すぐに結果が現れない場合もありますが、先駆的、継続的に取り組むことで解決に結びつくものと考えますので、今後も住民の皆様そして関係各所の皆様から協力を得ながら進めてまいりたいと考えております。</p>

	地区会議	質問・意見・要望	担当課	回答
				<p>【参考】 地域課題を解決し、地方創生の取り組みを進めるため、平成28年3月「横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し基本目標を次のとおり定めました。</p> <p>■基本目標1：横手に住む価値を持ち、定住する若者が増えている。 ～雇用があり、住みたい、住み続けたい 魅力あふれる まちを実現する～</p> <p>■基本目標2：横手で家庭を持つ若者が増えている。 ～若い世代が、結婚や安心して子どもを産み育てられる希望を持てるまちを実現する～</p> <p>今後も具体的な施策を展開し、持続的な社会を構築してまいります。</p>
4	黒川	<p>〔地区交流センター化について〕 地区の代表が集められて説明は受けたが、地域の方には浸透していないはずである。全く前知識がない中で聞く話は雲をつかむような話ばかりである。公民館そのもの名称はなくさないとか、住民からすると不可思議なことばかり。交流センターで行くのならば公民館を無くすでもいいかもしれないし、公民館は残しても二枚看板は今流じゃないような感じがする。市の説明の時期はいつなのかと。年度も3か月を過ぎる。説明を急いでほしい。 地区交流センター化は、来年から全部という話ではないのか。30年からという話を聞いている。</p>	生涯学習課	<p>地区交流センター事業については、「自主運営組織」を設置していただきながら、公民館を活動の拠点として14のセンターで地域づくりや生涯学習事業に取り組んで頂いております。一方で、地域の意向や公民館施設の規模、機能によって、地区交流センター事業への取り組みが進んでいない地区もあります。</p> <p>地区交流センター事業に対しては、説明が遅れている、少ないといったご意見も頂戴しておりますので、地域との対話を重視し、地域の意向も踏まえながら事業の浸透を図るための説明会を早急に開催したいと思います。</p> <p>なお、事業の進め方については、施設の名称や在り方からではなく、「自主運営組織」の育成に取り組む、組織の活動拠点として公民館が地区交流センターへと移行できるような進め方を考えております。そのため、全ての公民館を平成30年度から移行するものではなく、組織体制が整ったところから進めることとしております。</p> <p>※自主運営組織・・・地域コミュニティの維持や地域課題解決のため、地域の総合力で地域づくり活動を進める組織</p>
5	黒川	<p>〔地区交流センター化について〕 地域づくり協議会が無くなって、地区交流センター化もしないという場合はどうなるのか。</p>	生涯学習課	<p>現状では公民館として残ることになりますが、「自主運営組織」の必要性を理解いただきながら組織の育成に努め、組織の活動拠点として公民館が地区交流センターとなるよう支援してまいります。</p> <p>なお、市内全域を網羅する組織として設置されている地区会議の取り組みは今後も継続して参りますので、これまで以上に地域住民と行政との間で情報共有や意見交換を活発に行う組織体として位置付け、市職員も一緒になって地域づくり活動を支援して参ります。</p> <p>※自主運営組織・・・地域コミュニティの維持や地域課題解決のため、地域の総合力で地域づくり活動を進める組織</p>

	地区会議	質問・意見・要望	担当課	回答
6	黒川	法的には公民館は無ければならないのか	生涯学習課	<p>社会教育法では、公民館は市町村が設置し、管理は教育委員会が行うことが規定されており、市には公民館が28館、公民館の分館が4館設置され、社会教育法第22条に規定されている定期講座の開設、講習会・講演会等の実施、体育・レクリエーション事業等を行ってきました。</p> <p>しかし、生活習慣の多様化や高度化する学習ニーズに対応するためには、これまでの公民館に加え、首長部局や民間の活動と連携した展開により、住民にとって使いやすい魅力的な施設として運営されることが求められています。</p> <p>公民館が地区交流センターとなった場合でも、社会教育法22条に規定される事業を実施していくことで、公民館機能が維持できることから、必ず公民館が無ければならないものではありません。</p>
7	黒川	横手市職員の非常勤も含めた不祥事が無くなる知恵はないものか。横手城の件も熊と合わせて印象付けられた感じだ。どういう基準で採用しているのか。	人事課	<p>この度の件では、市民の皆さまの信用を著しく失墜させる行為となり、大変申し訳なく、また改めて職員一同気を更に引き締めるよう注意喚起しているところです。</p> <p>お尋ねの非常勤職員の採用につきましては、ハローワークを通して募集をし、応募のあった方について、書類審査や複数人による面接を行ったうえで、採否を決めております。公務に携わることについて、市民の信用と信頼を失墜することのないよう注意を促し、書面で確認をもらっております。今後は、なお一層厳しい目で確認し、安易な採用を行うことがないように、注意してまいります。</p>
8	黒川	ゆとりおん大雄だが、宿泊は5名からとなっているがなぜか。	大雄地域課	<p>ゆとりおん大雄は平成27年6月から市直営となり、市主催のスポーツ大会や合宿を除き、宿泊については休止していました。しかし、市内外の利用者から宿泊再開の要望があり、収益率や採算ラインを計算したところ5人以上であれば受け入れ可能と判断し、平成28年度から5名以上を条件に宿泊を再開しました。</p>

	地区会議	質問・意見・要望	担当課	回答
9	大森・白山・川西	<p>[地区交流センター化について]</p> <p>交流センター化されると、今までの公民館活動に関する予算がほとんど減るはずだ。共助組織、支え合い協議会、生涯学習と同じようなものが3つも4つもあって役員がかぶっている。会議がいくつも重なるところを整備しなくてはいけないという部分がある。もう一つ、交流センターが実施された公民館は、全然儲かっていない公民館だ。財源的に自主運営が出来る公民館とできない公民館がある。市がどういう形で交流センター化を他の公民館の方で進めているのか。大森は全然儲からない公民館が4つだ。それをいち早くまとめられたという形がするが、その辺はどう考えているのか。</p>	生涯学習課	<p>地区交流センター事業に着手している14の地区交流センターとは、地区の人口に応じて50万円から60万円の事業費で事業委託契約を締結しています。各センターによって地域づくり事業を充実させるセンター、生涯学習事業を充実させるセンターがあると思いますが、従来の公民館予算は維持しておりますので、これまでよりも充実していると考えております。</p> <p>「自主運営組織」である地区交流センター運営協議会の委員は、地域のさまざまな役割に就かれていると認識しています。将来的には「地域課題の解決」といった目的を同じくする組織が一体となり運営協議会を組織されることが理想と考えております。ご多忙とは存じますが、地域が抱える諸課題の解決に向けて、地区交流センター運営協議会委員が先導役となっていただくことを期待しています。</p> <p>地区交流センター化した公民館の自主運営に関する部分について、現在は地域の公民館として設置されているため維持管理費を市が負担し、事業実施部分を業務委託契約により実施していただいております。今後、公共施設の受益者負担の見直しに関する基本方針やFM計画(横手市財産経営推進計画)、自主運営組織の必要経費などを勘案しながら、公民館の自主運営について検討してまいります。</p> <p>※自主運営組織・・・地域コミュニティの維持や地域課題解決のため、地域の総合力で地域づくり活動を進める組織</p>
10	大森・白山・川西	<p>[地区交流センター化について]</p> <p>地区交流センターは、いろいろな面で右往左往しながら試行錯誤している状態だ。地区交流センターを私なりに考えてみると、公民館を含めた生涯学習を1つ包含して地区交流センターの中に生涯学習を含めて、その他に地域づくり、地域の自主的な活動を取り入れた地域づくり、また地域の課題を解決していくようなことに取り組んでいく。大きく地域づくりと、生涯学習で進めている人づくりの2つが地区交流センターに求められている目的ではないかと思っている。今まで公民館が何十年という間に積み上げてきた生涯学習を地区交流センターでも伸ばしていくためには、どうしても人づくりをしっかりしなければならない。人づくりがしっかり出来なければ、人とのつながりや地域づくりに結びつかない訳なので、是非生涯学習の方を疎かにしないで取り組んでいきたいと自分なりに考えているところだ。総合的な地域づくり活動という、総合的というのはどこまで含めるのか。地区交流センターにどこまで、出来るものか。これはあくまでも拠点としてとあるので、総合的な地域づくりということと、もう1点、今年14の交流センターがスタートした訳だが、この後年々、地区交流センターがセンター化していく訳で、いずれ横手市の地区交流センターの1つの大きな組織を作る予定があるのかお聞きしたい。</p>	生涯学習課	<p>地区交流センターの目的は、まさに地域の自主的な活動による地域づくりや地域課題解決に向けた取り組みに、生涯学習が進める人づくりが合わさり、市民協働による総合的な地域づくり活動の拠点とするものです。</p> <p>ご意見にありますとおり、生涯学習が担う人づくりの部分は、地域課題に取り組む自主運営組織には欠くことのできないものでありますので、今後もしっかりとサポートしてまいりたいと思います。</p> <p>「自主運営組織」が担う、総合的な地域づくり活動には地域生活の維持、子育てや健康づくり、防災・防犯活動、伝統文化の継承、人材育成等々、それぞれの地区によって課題があると思います。その課題解決を住民自らが事業化して解決することを総合的な地域づくり活動と捉えております。</p> <p>各地区交流センターの交流や情報交換は大変有意義であり、必要なものと感じております。交流や連携を目的とした各地区交流センターの連絡会議等を開催しながら、より充実した地区交流センターとなるよう進めてまいります。</p> <p>※自主運営組織・・・地域コミュニティの維持や地域課題解決のため、地域の総合力で地域づくり活動を進める組織</p>

	地区会議	質問・意見・要望	担当課	回答
11	大森・白山・川西	<p>介護保険法の改正によって、支える協議会を作れということで、私どもは「おおもり支えあい協議体」という名目で作っている。予算的には800万円でこれを社協の方に委託しているようだが、2次にくると5万円しか予算的にないという現実で、私どもはボランティアで結構だが、何をやるにして大変窮屈な予算だ。また、何でもかんでも社協ということで、社協もかなり忙しい。支え合い協議会という組織と、交流センターの中でも共助ということで地域の支え合いの趣旨もかなりある。その辺の兼ね合いも含め、「支えあい協議体」に対しての考え方をお聞きたい。</p>	高齢ふれあい課	<p>「おおもり支えあい協議体」は、介護保険事業の取組の一つ「生活支援協議体(2層)」です。</p> <p>目的は、「誰でも住み慣れた場所で暮らし続けられる地域をつくる。」ことですが、この協議体の活動は、実際に共助組織等を運営する場としては想定されていません。</p> <p>主な活動は、地域にある生活のための資源(サービス等)を再確認、再発見し、協議体の構成員で話し合い、不足しているサービスを提供できる事業所や人材への働きかけ、地域にサービス創生を促すものです。</p> <p>実際にサービスを提供するのは、その趣旨に賛同した人や団体・事業所です。例えば、「共助組織もサービスを実際に提供する団体」という位置づけとなります。</p> <p>「生活支援協議体(2層)」への一番の参加要件は、「地域の生活を何とかしたい。」という、団体も含めた個々の熱意です。今のメンバーも自由意志で参加いただいた方です。「交流センター」からの代表が参加することも想定されますが、それぞれの「交流センター」の考え方により、違った対応になることもあります。</p> <p>一方、地区交流センターがその事業の中で、地域にサービスを提供することも可能と考えます。</p> <p>地区交流センターの自主運営組織も、地域コミュニティ維持や地域課題解決のために地域の総合力で地域づくりを進める組織でありますので、二つの組織がその特色を活かしながら、協力し「住み続けられる地域」を目指すことが理想です。</p> <p>予算についてですが、社会福祉協議会への委託費は、「生活支援協議体」の会議の案内・会場設営議事録作成等の事務費と、構成員の皆様や関心のある市民の方等が制度をより深く勉強するための研修会や先進地視察の費用に充てられております。</p> <p>また、社会福祉協議会のこの協議体への参加は、市からの事務委託先としてではなく、「社会福祉協議会本来の役割」という理念に基づき地域福祉のために、メンバーとして参加しているものです。</p>
12	大森・白山・川西	<p>温泉の話で1つ疑問な点があり、今回さくら荘と健康温泉に別々の業者が手を挙げているが、仮に両方に決まった時に恐らく源泉は1つだと思うが、その源泉の権利はどうなるのか。</p>	商工労働課	<p>温泉施設の公募については、7月の選定審査委員会による審査を経て「大森健康健康温泉」については1社の交渉事業者を決定し、「さくら荘」については譲渡候補者無しの結果となりました。</p> <p>なお、源泉の権利については、温泉施設の民間譲渡に向けた取組の進捗を見極めながら交渉事業者と調整を図ってまいります。</p>

	地区会議	質問・意見・要望	担当課	回答
13	阿気・田根森	旧大雄村役場からの物件と思うが、田根森地区、新町、田村地区の方に堆肥センターがある。匂いを何とかしてくれということで、市役所の方に電話入れている。担当の方は座談会の方に顔を出して、今回はこういう風にやっていますと、刈和野の全国的に有名なバイオを使っています。高いですという話をする。彼も真剣に対応してくれてはいるが、これから入梅で夏に凄い異臭がしてくる。前は浅舞地区に堆肥センターがあったが、いつの間にか大雄地区に来た。要は臭いから、こちらの方によこされた。非常に私自身は不満に思っているし、何とかならないのということは常々お話している。何も進歩がない。これは持ち帰って頂いて再度、ある程度山手の方に持っていか場所を考えて頂かないと、私ども四六時中臭くて臭くてという状況になっている。	農業振興課	平成17年度より稼働している大雄堆肥センターですが、臭気の問題につきましてはこれまで近隣集落の皆様よりご意見等を頂いております。その都度、発酵の改善に向けた取り組みや、施設の補修等も実施しながら、市民の皆様方にご理解いただけるよう対応し事業を進めてまいりました。昨年度は、ブロワ(送風機)改修も行っており、これにより、発酵期間が短縮されたため、臭気の発生量も以前に比べ少なくなっております。 平鹿有機センターにつきましても、二次発酵や堆肥保管施設として現在も活用しております。また、人口密集地でない山の方へ移転というお話も出しておりますが、施設のあり方につきましては、FM計画の中で進めてまいります。 これからも臭気の問題につきましては、皆様方よりご意見等を伺いながら、改善できるところから順次行ってまいりますので、ご理解のほどをよろしくお願いいたします。
14	阿気・田根森	油川排水幹線は工事着工しているが、先般、農水省が来て、説明の中には農道、最初県の事業の橋だったんだと思うが、それが市の方に全部移管されているようだ。いくら老朽化しても川そのものは補修するけれども橋には手を掛けないとのこと。それでお願いだが、橋も随分老朽化して、軽トラックなどいろいろ通っているが、何トン以上の車両は通過出来ないという表示もないし、渡って崩落する事故が発生したら大変なことで、市の責任になると思う。出来ればいろいろな調査をして老朽化の問題、橋に何トン以上の車両は通過できないとか、明示してもらえればいいと思うが、今後の調査の対象として取り入れて頂きたい。	建設課	橋りょうやトンネル等の公共施設については、平成26年度から、5年に1度の定期点検が義務化されており、横手市においても計画に従い点検作業を進めております。 油川幹線排水路に架かる3橋(油川5号橋、油川6号橋、油川13号橋)につきましては定期点検義務化前に実施した点検結果に基づき補修が必要と判断していることから、平成29年度～平成31年度までに補修工事を実施する予定です。 また、今後実施していく定期点検の点検結果を基に緊急を要する箇所につきましては、危険度区分に基づき応急工事の実施や、荷重規制等の明示の対策を講じて参ります。
15	福地	[地区交流センター化について] 公民館長が、地区交流センター長となって運営するという理解でよろしいか。地区交流センターとなった場合、公民館長の役割がどうなるのかということとは市のHPからはわからなかった。	生涯学習課	現時点では「地区交流センター事業」を実施していただいている状況であり、公民館も施設として残っています。 「自主運営組織」が、公民館を活動拠点としている場合には、地域の話合いによりますが、センター長が公民館長を担っていただくことが理想と考えます。  ※自主運営組織・・・地域コミュニティの維持や地域課題解決のため、地域の総合力で地域づくり活動を進める組織

	地区会議	質問・意見・要望	担当課	回答
16	福地	〔地区交流センター化について〕 旧横手はどうなるのか。	生涯学習課	<p>横手地域には公民館が7館あり、その内の6館が総合交流促進施設として設置しております。</p> <p>地区交流センターについては、地域の理解と協力が必要であり、市役所職員も積極的に関わりながら、「自主運営組織」を構築していただき、組織の活動拠点として公民館等が利用され、組織の醸成とともに地区交流センターへ移行できるよう、地域との対話を進めます。</p> <p>なお、市内全域を網羅する組織として設置されている地区会議の取り組みは今後も継続して参りますので、これまで以上に地域住民と行政との間で情報共有や意見交換を活発に行う組織体として位置付け、市職員も一緒になって地域づくり活動を支援して参ります。</p>
17	福地	〔地区交流センター化について〕 福地地区の交流センター新築の件で、福地と南郷の交流センター建築の予算が付いたが、同じ金額であった。人口比率から見てもおかしい。福地と南郷を比べて同じ規模の建物でいいと行政側で判断していると思えない。市の建設課の監理系の職員が「雄物川地域局には金額の上乗せは絶対しない」と言っている。議会が行政のチェック機関という自覚があるのなら、なぜこのことを問題視して解決してもらえないのか。	生涯学習課 雄物川地域課	<p>福地地区交流センター建設については、福地地区会議より横手市議会へ「福地小学校跡地に地区交流センターを建設していただきたい」旨の陳情書が提出され、平成28年12月議会において採択されました。平成29年度の予算要求にあたり、事業規模等詳細な計画についての検討が不足していたため、山内南郷集会所の事業内容を参考としたものであります。</p> <p>福地地区交流センターは、今後の地域課題の解決に向けた拠点となる施設であるため、現在、福地地区交流センター運営協議会委員と地元市役所職員によるプロジェクトチームを立ち上げ、建設に関する要望等の取りまとめを行ってるところです。</p> <p>交流センターはセンター長や事務員が常勤する施設であり、建築面積や事業費についても、他施設とのバランスを考慮し調整を図ってまいります。</p>
18	福地	防災訓練などいろいろやっているが横手市では雄物川の一級河川のこの地域をどのように考えているのか心配。地区交流センターとなり、この地域で水害が起きた場合どうするのかということも含めて、今後の地域の在り方や新しい地域づくりについても議員の方の考えをいただきながら進めていただければと思う。	危機管理課	<p>国一級河川の防災・減災に対する取り組みであります。先ず、ハード面では国(国交省湯沢河川国道事務所)や県と連携して河川の視察を行い、問題がある個所の把握に努め、その早期改善について要望を強めているところです。</p> <p>ソフト面では、一級河川の氾濫が起きれば、その被害や範囲は甚大なものとなるので、大雨や台風の際は一級河川の水位を第一に警戒し、災害情報や避難情報の発信について万全を期しているところです。</p> <p>また、市では本年度ハザードマップの改訂を進めており、年度末までに最新の浸水想定や避難経路などをわかりやすく住民の皆様にお示しすることにしてあります。</p> <p>なお、防災・減災は公助の力のみでなし得ることは不可能ですので、地区交流センター化になる機会を捉えて、更に住民の皆様と話し合いをさせていただきたいと考えています。</p>

	地区会議	質問・意見・要望	担当課	回答
19	福地	えがおの丘と大森のシルバーエリアの休館日が月曜日で一緒。小学生は月曜日に振替休日が多く、十文字地域の小学生が月曜日にプールの練習で千畑まで行っている状況。スイミングスクール等の調整が必要だとは聞いたが、えがおの丘の休館日をずらすなどの工夫はできないか。提案する。	雄物川地域課	えがおの丘の月曜定休日は、平成7年の施設オープンから20年以上続けられ、利用客に浸透しているものと認識しております。また、土日は利用客が多く、月曜日に行う保守管理やメンテナンス及び館内外の清掃は施設維持の面から欠かせないものとなっております。 水泳教室につきましては、参加者の希望や指導者の都合を勘案して、年間のスケジュールを計画しており、年度途中での変更は困難な状況であります。
20	朝倉	〔地区交流センター化について〕 地区交流センター化について、これまでの職員はどうなるのか。職員を置かないで、地域の住民は職員に代わって全部をやるのか。こういった点について明確になっていない。ボランティアでやればいいのか、地域の住民でやるのか、そういったところがはっきり見えてこない。予算がないから人口が減少したから地域に任せて、行政から丸投げをされてそれで済むかどうか。この点を考えて地区交流センター化を考えて欲しい。また、センター化になることで、これまでの公民館事業に追加される活動内容が地域づくり事業や身近な地域課題への対応とコミュニティの醸成ということだが、市の職員がいなくなるとみんな地域の自主運営組織に任せられるのか、そして仮に事業が増える場合に予算はどうなるのか。どういう議論がされているのか。	生涯学習課	公民館から地区交流センターへと移行した場合には、公民館への市職員の配置は原則行わないことになると考えておりますが、当面はセンター長と臨時職員を市が手当てし、地区交流センター運営の補佐や、公民館事業、地域課題への取り組みをサポートするとともに施設の貸し出し業務等を行います。将来的には当該人件費を含む自主運営組織の運営経費を交付し、人材も地域内から雇用できる方向で考えております。 総合交流促進施設と併設されている公民館については、施設が抱える行政サービス業務等を勘案しながら検討する必要があります。職員の配置についても、地域との協議を行いながら検討してまいります。 地域課題の洗い出しや事業の実施は、「自主運営組織」が企画・立案しながら地域の方々と一体となって行っていただきます。市職員も企画の段階から積極的にサポートできる体制を整備します。 地区交流センター事業は、財政規模の縮小により実施するものではありません。地域コミュニティ、地域ネットワークの継続を補完しながら、持続可能な地域を目指す事業です。そのため、市の職員も積極的に関わる体制を整備します。 地区交流センター事業に係る予算については、現在実施されている14センターの事業評価を行い、予算の規模も含めて検討してまいります。また、事業実施に当たっては、ワークショップ等の手法を活用しながら、地域課題に沿った事業となるようサポートしてまいります。  ※自主運営組織・・・地域コミュニティの維持や地域課題解決のため、地域の総合力で地域づくり活動を進める組織

	地区会議	質問・意見・要望	担当課	回答
21	朝倉	<p>[地区交流センター化について]</p> <p>これまでの公民館活動を維持しながら、コミュニティ活動とか地域の問題点を取り上げるには、相当専門職のレベルの高い集団でないと施設の運営は難しいと思う。行政としては、ただ地域に投げて、自分たちのできる範囲でやればいいのかという組織なのか。それとも単に地域に投げるだけ、あるいは自主活動をさせるだけでなく、今までよりも質の高い地域活動あるいは文化活動を維持できるという裏付けがあって交流センター化させているのか。</p>	生涯学習課	<p>地区交流センターは市との協働による事業であり、全てを地域に委ねるものではなく、地域が抱えるさまざまな課題を自主的に解決できるよう、市職員もしっかりとサポートする体制を整備します。</p> <p>地区交流センターを運営する「自主運営組織」には、地域の皆様が構成され、地域のご様々な課題解決のための事業を計画・立案・実施して頂きます。地域のニーズに沿った事業が展開されることは、質の高い地域活動に繋がるものと考えます。</p> <p>※自主運営組織・・・地域コミュニティの維持や地域課題解決のため、地域の総合力で地域づくり活動を進める組織</p>
22	横手西	<p>[地区交流センター化について]</p> <p>交流センター化が全く話題になっていない。職員も理解していない。この状況で交流センター化を進めるのはいかになものか。1月に地区会議の議長、役員、公民館の職員を集めた説明会があったが、それで説明は終わったということで、見切り発車で進めているのではないかと。横手地域の公民館の業務内容はただ単に地域の活動拠点ということだけでなく、様々な住民の要求・課題に即応したサービスを提供する事業をたくさんやっている。交流センターになることによってさまざまな行政サービスの引き継ぎができるのかという心配がある。住民負担が今以上に増えるのではないかと。もっともっと住民に向けた説明や協議、議論が必要ではないかと思う。</p> <p>この問題はまだまだこれから議論されていくのだと思うが、間違っても見切り発車することにならないように、議員の皆さんの頑張りに期待したい。</p>	生涯学習課	<p>地区交流センター化を進めた当初は、公民館を地区交流センター化とする施設面からの導入を進めて参りましたが、試行を続ける中で、人材育成や自主運営組織の育成が重要であるとの判断によりソフトからのアプローチへと変化しています。</p> <p>まずは、「自主運営組織」を立ち上げる準備をしていただきとともに、組織の活動拠点を決めていただく必要があります。組織の活動拠点としては公民館が望ましいと考えており、「自主運営組織」の成長とともに公民館を地区交流センター化してもらいたいと考えています。なお、公民館のない地区において地区交流センター事業を実施しようとする場合には、市と地区との協議により活動拠点を決定して参ります。</p> <p>また、「自主運営組織」の設置や運営は市との協働により行うものであり、職員も積極的に関わりながら、よりよい地域づくり活動となるようサポートしてまいります。</p> <p>地区交流センター事業に対しては、説明が遅れている、少ないといったご意見も頂戴しておりますので、地域との対話を重視し、地域の意向も踏まえながら事業の浸透を図るための説明会を早急に開催したいと思っております。</p> <p>※自主運営組織・・・地域コミュニティの維持や地域課題解決のため、地域の総合力で地域づくり活動を進める組織</p>

	地区会議	質問・意見・要望	担当課	回答
23	横手西	<p>〔地区交流センター化について〕</p> <p>地域づくり協議会が平成30年3月で廃止され、その後は地区会議が主体的地域づくり組織と位置付けられ支援を強化するとなっているが、支援強化とは何か。</p>	生涯学習課 地域づくり支援課	<p>地域づくり協議会は、市町村合併後の行政運営の激変緩和や「地域の声が行政に届かなくなるのでは」という懸念の払拭、市民と行政の協働意識の醸成などにつながったものと認識しております。その一方で、範囲が広すぎて身近な地域課題の解決など、きめ細やかな対応が難しいことや、諮問案件の協議に多くの時間が割かれ本来の目的であるまちづくりの話し合いの時間が少ないこと、行政と住民との情報共有が不足していることなどが課題として指摘されております。</p> <p>このような状況を踏まえ、今後の地域づくりの組織体制につきましては、概ね旧小学校区の範囲を基本として市内36地区に設置されている地区会議を主体にし、これまで以上に、地域住民と行政の間で情報共有や意見交換を活発に行ってまいりたいと考えております。</p> <p>現在、新たな地域づくり組織の方向性について検討を進めており、地区会議につきましても、これまでのソフト事業を見直し、地域団体による主体的な取り組みを更に進めるための制度や、地域要望に対応するためのハード事業の手法の見直しを考えております。</p> <p>今後、様々な角度から検討を進め、地域住民の皆様と意見交換してまいります。</p>
24	横手西	<p>地域づくり協議会にソフト事業の予算が交付されていた。来年度無くなるということは予算はどこに交付になるのか。</p>	地域づくり支援課	<p>現在、新たな地域づくり組織の方向性について検討を進めており、ソフト事業につきましても、これまでの事業検証を踏まえ、行政側で実施すべきもの、地域が主体となって実施すべきもののほか、本庁に予算措置すべきもの、地域局に予算措置すべきものなど、各種事業の仕分け・分類を行っております。</p> <p>各種事業の継続や廃止などの方向性を見極めながら、地域団体による主体的な取り組みを更に進めるためのソフト事業や、自治活動の基礎的な単位である町内会・自治会等の活動拠点を整備するための助成制度のあり方などについても検討してまいります。</p> <p>今後、様々な角度から検討を進め、地域住民の皆様と意見交換してまいります。</p>
25	横手西	<p>最近よく耳にするのが、用事があって市役所に行ってもいったいどこに行ったらいいかわからないという声をたくさん聴く。いろんな名称がずいぶん変わっていてなかなか市民は理解できない状況にある。市民にとって分かりやすい、市民にやさしい、市民目線で、市民に寄り添ったというのが原則でなければならぬと思っており、組織機構も同じだと思う。分かりやすい市役所にしないと、市民と行政とが協働でこれから事業を展開していこうという時代になっても、敷居がどんどん高くなるというのは逆行することになるのではないかな。もっと市民目線の市役所にすべきと提案してはいいかがか。</p>	人事課	<p>市民の皆さまへのお知らせが、分かりにくいことについてお詫び申し上げます。もっとわかりやすい行政窓口となるよう、広報などを通してお知らせいたします。</p> <p>また、職員一人ひとりが市の広報マンとして、もっと市民と行政の橋渡しを行い、地域とともにある市役所と感じていただくことが出来るよう職員教育に努めてまいります。</p>

	地区会議	質問・意見・要望	担当課	回答
26	平鹿	地区交流センターの権限とは？	生涯学習課	<p>地域づくり協議会は市からの諮問について審議し意見を述べるができるとされているほか、地域づくり計画の策定及び地域づくり予算に関する権限を有し、地区会議は地域行事の企画・調整・実行や地域要望の集約と予算化に関する権限を有しています。</p> <p>地区交流センターは、地区交流センター事業実施要綱に基づく事業を自主的に、自発的に実施するための活動拠点であり、地区交流センター自体に権限はありません。しかしながら、地区交流センターを運営する「自主運営組織」には、事業委託による事業費がありますので、その執行と地区に適した事業を実施できる権限があるものと考えます。</p> <p>また、地区交流センターの責任者ですが、公民館から地区交流センター化した際には、公民館長＝地区交流センター長が理想と考えますが、地域づくり活動の拠点にもなることから、「自主運営組織」や地域の話し合いで決定されるものと思います。</p> <p>※自主運営組織・・・地域コミュニティの維持や地域課題解決のため、地域の総合力で地域づくり活動を進める組織</p>
27	保呂羽	保呂羽地区は、羽後交通のバスが通らない地域。高齢者が出歩けるかどうかを考えると、バスの通っている地域とは条件が違うと思う。大森と横手を比較して、交通の便のいい所と不便な所を同じ土俵で話をされているのは、車の運転できない世代のことをどのように考えているか。	経営企画課	<p>市では、羽後交通大森線「大森病院～矢走」間の廃止後、タクシー車両を利用した「代替交通」や「デマンド交通」制度を創設し、地域の皆様にご利用いただいているところであり、高齢者の皆様の外出の手段といたしましては、一定程度のサービスを確保しているものと考えております。</p> <p>公共交通については、継続性と利便性の両立が必須であり、将来を見据えた全市的な視点と、地域・世代などの利用者の視点を考慮しながら施策を進めております。それぞれの地域に適した交通体系の在り方について、検討を継続してまいりますので、ご理解をお願いいたします。</p>

	地区会議	質問・意見・要望	担当課	回 答
28	保呂羽	<p>[地区交流センター化について]</p> <p>前田公民館は、平成24年から地域センターとしてやっていこうと地域あげて取り組んできて今に至る。4年かかってようやく地区交流センターになったが、生涯学習活動だけでなく、地域の課題解決に向けて取り組んでいるが、これまでと何が変わったのかと言われることを恐れている。活動をPRしているものの、運営するスタッフに課題がある。館長と女性事務員2人でやっているが、自治会の事務も手伝っており年中忙しい状況だが、女性事務員の賃金が安い。副市長に相談したところ、「似たような立場の人もいるので検討する」との話だった。看板の掛け替えで終わらないためにもスタッフのことも考えてほしい。若い人が働く意欲が持てるようにしてほしい。公民館の仕事と地域づくりの仕事が増えてくる。事業委託料50万円くらいだが、事務仕事も今までとやり方と違う。役所に則ったやり方でなければならず、中身もどんどん変わってきて事務量も増えていることを考慮してもらいたい。生きがいを感じてこれからの将来を託すためにも、臨時1年で終わりではなく、それで生活していける保証をして頂きたい。事務員を募集しても、あまりにも待遇が悪くて断られる。誘致工場の賃金の方が高い。職員の身分を安定させてほしい。</p>	生涯学習課	<p>ほろわ地区交流センターについては、共助組織も組み入れながら、地域課題の解決に積極的に取り組まれている先進的なセンターと認識しております。</p> <p>臨時職員の処遇、身分保障については、副市長のお話のとおり、市役所内の臨時職員との関係を考慮しながら検討する必要があると考えています。</p> <p>事務の進め方や事務量について、地区交流センター事業は、事業実施要綱に基づき業務委託契約を締結することで事業が実施されている現状であり、他の地区交流センターとも歩調を合わせた事務の執行をお願いしております。今後は、実施事業の評価だけでなく事務作業等も検証しながら、よりよい地区交流センターとなるよう協議を進めます。</p> <p>将来的には、施設の維持管理や職員の雇用までを含めた地区交流センターの理想形を検討してまいります。</p>

	地区会議	質問・意見・要望	担当課	回答
29	さかえ	<p>〔地区交流センター化について〕</p> <p>地区交流センター化は、公民館としてのこれまでの生涯学習機能に加え、高齢化に伴う暮らしの課題解決を、そこに住む住民が主体となって解決を図る新しい地域社会づくり拠点機能と理解している。安心して暮らせるために名実ともに機能するセンター化の推進を図るべきだ。</p> <p>八王寺3区自治会は、昨年から町内会有志による「結の会」を結成し活動している。昨年冬の活動実績は、屋根の雪下ろし3世帯1回、間口の除排雪7世帯20回。利用者は安心して冬を越せると喜んでいる。3年間で市や県からの補助金がカットされるので、もう少し延長してもらえないだろうか。自己資金の確保が一番の課題。他地域では県道の草刈りを請け負っているように、私たちも八王寺公園の草刈り等でいくらでも確保できるようになればありがたい。</p> <p>地域づくり協議会の委員になっているが、どのような経緯から29年度で廃止することになったのか。64～5の元気の出る事業を通じて地域活性化につながっているものと思うが、横手地区で1,300万円程の予算の振り分けについては、これからは地区会議が主体となってソフト・ハード事業をやることになると思うが、地区交流センター化が地域づくり協議会に成り代わるためには、どのように地域活性化の事業を行っていけばいいのだろうか。</p>	生涯学習課 地域づくり支援課	<p>少子高齢化や過疎化が進む中、自らの地域の生活や暮らしを守り、地域課題の解決に向けた取組を実践している共助組織の活動は、今後の地域づくり活動の目指すべき姿の一つとして捉えております。</p> <p>現在、新たな地域づくり組織の方向性について検討を進めており、現行の「みんなでささえあう地域づくり活動補助金」制度の見直しを含め、共助組織への支援を充実させたいと考えております。自主財源の確保につきましても、すでに実施している県道、グラウンドの草刈作業等の業務委託に加え、さらに委託可能な作業等の有無について、関係機関とも協議してまいります。</p> <p>地域づくり協議会は、市町村合併後の行政運営の激変緩和や「地域の声」が行政に届かなくなるのでは」という懸念の払拭、市民と行政の協働意識の醸成などにつながったものと認識しております。その一方で、範囲が広すぎて身近な地域課題の解決など、きめ細やかな対応が難しいことや、諮問案件の協議に多くの時間が割かれ本来の目的であるまちづくりの話し合いの時間が少ないこと、行政と住民との情報共有が不足していることなどが課題として指摘されております。</p> <p>現在、新たな地域づくり組織の方向性について検討を進めており、ソフト事業につきましても、これまでの事業検証を踏まえ、行政側で実施すべきもの、地域が主体となって実施すべきもののほか、本庁に予算措置すべきもの、地域局に予算措置すべきものなど、各種事業の仕分け・分類を行っております。</p> <p>各種事業の継続や廃止などの方向性を見極めながら、地域団体による主体的な取り組みを更に進めるためのソフト事業や、自治活動の基礎的な単位である町内会・自治会等の活動拠点を整備するための助成制度のあり方などについても検討してまいります。</p> <p>今後、地区交流センターのあり方も含め、様々な角度から検討を進め、地域住民の皆様と意見交換してまいります。</p>

	地区会議	質問・意見・要望	担当課	回 答
30	さかえ	<p>[地区交流センター化について]</p> <p>地区交流センターの役員など人員配置の構想はどうなっているのか。今までの地域づくり協議会は、市から任命を受けているが、地区会議となると漠然としている。誰が委員になってどのようなスタッフを抱えて、事業をする時はプレゼンをしてそれを認めるというようなシステムが必要だ。公民館に、このような事業をやりたいと住民から会った時に、誰がフィルターをかけて市や団体に上げたりするというような仕分けをしなければ、ただ弊害化しているような結果では機能していかないと思う。地区会議の位置付けをはっきりさせることは大切だ。まして税金を投入してやるとなれば、きちんとした形でやらなければならない。3～5年程度のスパンがあると思うので、その辺もきちんと体制をつくってもらえたらと思う。</p>	生涯学習課 地域づくり支援課	<p>本年4月から本格実施へ移行した地区交流センターにおいては、地域で活動する様々な団体により構成される運営協議会が設立され、市との業務委託契約により、地域課題の解決に関する事業や生涯学習活動に関する事業などが展開されております。</p> <p>地区交流センターの運営にあたっては、年代や性別、活動が異なる様々な組織や団体が連携を深め、それぞれの長所を活かし補完し合うことが重要になってくるものと考えております。</p> <p>このため、地区交流センターの「自主運営組織」は、自治会や地区会議、消防団や共助組織、PTA、婦人会、老人クラブ、公民館活動団体、地域内の民間事業者等、様々な団体の方々に構成され、長所を活かしながら活動される組織であるべきと考えています。</p> <p>現在、地区交流センター事業に取り組んでいる14センターの中では、地域づくり部会や生涯学習部会といった部会単位で活動されている組織もあります。</p> <p>地区会議につきましても、地区交流センターが地区会議の機能を担う体制が望ましいと考えておりますが、公民館と地区会議の範囲が一致している地区、一致していない地区など、地域によって状況が異なっており、その地区にとってより身近で活動しやすい体制となるよう、組織化に向け、地域住民の理解を深めながら地区内の合意形成を図ってまいります。</p>

	地区会議	質問・意見・要望	担当課	回答
31	さかえ	<p>〔地区交流センター化について〕</p> <p>地区交流センター化の方向は噂に聞いていたが、今日初めて聞いて、公民館で今までやっていたことを更に広げていくという方向性はいいことだと思う。ただ、自主防災だ市民協働だということを、今の我々の公民館活動の中で言われても果たしてどのように進めていったらいいのか分からない。今日は議会の立場で説明頂いているが、市がどのように考えどのように進めるのかは、やはり議会の皆さんの説明だけでは足りないと思う。市の説明や学習会をやって頂いて、更に議会とお話ししながらやっていかなければ、なかなか前に進まないと思う。丁寧にやらなければ今やっている公民館活動自体もだめになってしまう恐れがある。方向性に反対する方はいないと思うし、中身を学習したい。</p>	生涯学習課	<p>地区交流センター事業については、「自主運営組織」を設置していただきながら、地域づくりや生涯学習事業に取り組んで頂いております。</p> <p>現時点では公民館設置条例に位置付けられた公民館でありますので、公民館の名称は残ることになりますが、今後、地区交流センターの活動の活性化、認知度の高まりによって、名実ともに公民館から地区交流センターへと変更したいと考えます。</p> <p>地区交流センター化については、施設の名称や在り方から進めるのではなく、地域の意向を尊重しながら「自主運営組織」の育成に取り組み、「自主運営組織」の活動拠点として公民館が地区交流センターへと移行できるような進め方を考えております。</p> <p>地区交流センター事業に対しては、説明が遅れている、少ないといったご意見も頂戴しておりますので、地域との対話を重視し、地域の意向も踏まえながら事業の浸透を図るための説明会を早急に開催したいと思っております。</p> <p>また、学習会の必要性は痛切に感じているところであり、先進自治体や地域づくり活動に造詣の深い講師等をお招きしての研修会や、地域のリーダーを養成する講習会等へ積極的に参加していただくよう取り組みます。</p> <p>※自主運営組織・・・地域コミュニティの維持や地域課題解決のため、地域の総合力で地域づくり活動を進める組織</p>
32	さかえ	<p>総務省では、地方交付税の中で、地域運営組織を進めていくための予算をつけている。特別交付税の中には、研修会や勉強会をやるための予算も2年前からついているのにも関わらず、市の姿勢が見えない。分からないところで地域づくり協議会だけでやっているようだ。今の限られた予算をしっかりと見直して、要求のものから整理していくことを提案して頂きたい。交付税の中身は、その地域の運営組織体制をつくるための支援費で、勉強会や研修会をやるための費用が特別交付税になっている。市の予算の総額の中で不要なものを見直すべきで、今まであったものがなくなっていると思う。〔勉強会や研修会をやってほしいという要望〕</p>	生涯学習課	<p>総務省が進める「地域運営組織」を市では「自主運営組織」として捉えており、地区交流センター事業に着手しているセンターでは、運営協議会がその役割を担っていただいております。</p> <p>ご指摘にある勉強会や研修会の必要性は痛切に感じているところであり、先進自治体や地域づくり活動に造詣の深い講師等をお招きしての研修会や、地域のリーダーを養成する講習会等へ積極的に参加していただくよう取り組みます。</p> <p>※自主運営組織・・・地域コミュニティの維持や地域課題解決のため、地域の総合力で地域づくり活動を進める組織</p>

	地区会議	質問・意見・要望	担当課	回答
33	さかえ	<p>3月議会最終日に動議で提出された監査請求について、6月議会の最終日に監査報告があり決議を出されたが、立て替え払いが一職員の判断でできる話なのかと思った。平鹿地域のお金の紛失も、後から見つかったようだが、机にあったものが無くなって後から出てきたと言うのには納得できない。監査報告では市の方が悪いという踏み込んだ発言をしていたが、議会として市長はどのように責任をとるのかと踏み込んだ決議をされているが、市長からは何もないではないか。私も含め、ネット中継をみていた人は皆知っていることだ。この後どうするのか。これまで4年間の間に、市長は自ら減俸処分をするとか歳費をお返しますという話が一切なかった。それは何もやっていないのと同じなのではないか。議会の全会一致の決議というのは、今までになかった凄い進歩だと思う。そこを明らかにして市民が納得できる回答を頂きたいと思う。</p>	秘書広報課	<p>市長からのお詫び 6月定例会最終日に、市の適正な事務執行を求める決議案が提出され、全会一致で可決されました。度重なる事務処理ミスや不祥事により市民の皆様並びに議員の皆様には多大なるご迷惑とご心配をおかけしたことについて、心からお詫びを申し上げます。私は、この4年間、職員には失敗を恐れたり怯んだりすることなく、業務に果敢に取り組んでほしいという思いを伝えるとともに、全体の奉仕者として強い自覚と緊張感を持って職務に専念するよう、機会あるごとに呼びかけてまいりました。こうした中において、今回のような事案が相次いで発生してしまったことにつきましては、慚愧に堪えないところであり、改めて適正な事務執行の徹底を図ってまいります。</p> <p>監査委員から指摘を受けた事項につきましては、速やかに改善措置を講じさせたところでありますが、併せて再びこのような事案が発生しないよう、事務処理ミス防止に向けた対策に全庁挙げて取り組むよう指示しております。</p> <p>職員の起こしたミスや不祥事の責任については、職員だけではなく、市の最高責任者である私にもあり、市長としてその責任を重く受け止めております。こうした気持ちを持ちながらも、議員の皆様にご伝えていることにつきましては、大変申し訳なく思っており、深くお詫び申し上げる次第であります。</p> <p>今後は、再発防止策をさらに工夫し、市政の信頼回復に全力で取り組んでまいりますので、何卒ご理解、ご協力くださるようお願い申し上げます。</p>
34	山内北	<p>〔地区交流センター化について〕 この計画では、山内公民館1つしかないが、13自治区をいくつにするのか。</p>	山内地域課 生涯学習課	<p>現在山内地域には4地区会議があり、今後地区会議の機能強化を目標に再編も検討中であります。</p> <p>今後は地区の方々の要望を受け、地域全体にとってプラスになる方向で進めたいと考えております。選択肢としては、4地区会議、13自治区、1地域の3つの方向性があるのではないかと考えております。</p>

	地区会議	質問・意見・要望	担当課	回答
35	山内北	避難所の管理は地元でやるのか、行政でやるのか。自分たちは役員で草刈り作業をしている。草刈り作業については、機械代、役員の刈り払い代、燃料代がソフト事業の方でいくらかある。学校跡地なので周りにはU字溝が入っているが、土で埋まっていて雨が降ると全部田んぼのようになる。草刈りをすればきれいになるので、グラウンドゴルフ大会や避難訓練を行っている。せめて避難所であれば水やトイレは必要だ。話を聞くと、屋根も何もなしのところは他にもたくさんあるから大丈夫だと言われる。	危機管理課	<p>横手市では全域の公共施設・敷地の内、指定避難場所として166箇所を指定しています。その内、屋内の避難所は110箇所あり、避難場所と兼ねることとしています。一般的に「避難場所」とは災害から身を守るために迅速に避難する場所、「避難所」とは災害などにより自宅に帰れない方が一定期間滞在する場所ということになり、「旧松川小学校グラウンド」は前者に当たります。</p> <p>ご指摘の通り、指定避難場所は地区に均等に配置されている訳ではなく、高齢者等が歩いていくのは不可能なところも多々あったり、降雪期には使えないところがあるのが現状です。また、特に避難場所を兼ねている避難所（屋内施設）については、学校の統廃合などで数が減っています。このため、市では災害の種類や地形などにもよりますが、地区の会館等を一時避難所として活用してもらうことは大変有益と考えていますので、今後、避難所については各地域で意見を伺う機会を作りたいと考えています。ただ、身の危険を感じるような災害発生の場合は、市の指定云々ではなく、地区住民の皆さん自身が「安全」と「現実性」を考えた避難行動をお願いしたいと思います。</p> <p>なお、「松川コミュニティセンター」につきましては土砂災害警戒区域に入っておりますので、土砂災害が心配される際の避難所としては適しておらず、十分注意が必要です。</p> <p>また、「旧松川小学校グラウンド」は大松川区が「大松川地区多目的広場」として使用するに当たり、契約書が取り交わされておりますので、それに従った維持管理をお願いいたします。</p>
36	山内北	山内北地区会議は3自治区で構成し、松川コミュニティセンターは公民館ではなくダム事務所につくってもらった建物。我々としては、よく使うこの場所を避難所にしてほしいと要望しているが、して頂けない。この地区は、地すべり地形の範囲内。旧松川小学校跡地、電気ガス水道トイレが一切ない更地が避難所に指定されている。冬になれば除雪もしない場所だ。冬期間は、松川コミュニティセンターが、臨時避難所になる。避難訓練の際には、防災無線を鳴らして全員揃うまで30分位かかる。皆歩いて行って、何もなしのところからテントを建てる。避難所としてどうなのかということはずっと前から言っていることだ。		
37	増田	〔横手市財産経営推進計画(FM計画)について〕 増田では地区会議を「地域センター」と言い、廃校になった校舎を活用している。増田地域センターの拠点だったふれあいプラザに多額の費用をかけてマンガに特化した施設とするため、生涯学習センターと公民館機能が多目的センターに移ったが手狭感がぬぐえない。住民の皆さんに積極的にやって頂いている手前、一定の施設管理は必要。地域センター祭りが従来の半分しか人が集まらないなど事業に支障をきたしている状況だ。FM計画で、新たに作るよりも既存の施設を改修することもあると思うが、庁舎と多目的センターを逆転して、増田地域センターを庁舎内として活用するといった大胆な考えはないのか。	増田地域課	<p>増田庁舎については、平成27年度に「地域コミュニティがつながる場所」というコンセプトで行政事務スペースを2階に移転し、1階には図書館やフリースペースといった機能を配置しましたが、この建物は行政事務を執るために整備された施設です。</p> <p>また、多目的研修センターは集会施設として整備された施設であり、建物の形状や広さから地域局の執務スペースや書庫等の行政機能を現状規模のまま移転することは困難であると考えられます。</p> <p>さらに、多目的研修センターを改修し公民館機能を備えましたので、地域センターの活動の場としては増田庁舎よりは使い易いと考えておりますし、まんが美術館の改修後はこれまでどおりホールもご利用いただけます。</p> <p>しかし、手狭になったことで地域センターの事業に支障をきたしているということでもありますので、今後、庁舎1階のフリースペースや3階の講堂、増田小学校や体育館等の周辺施設の利用調整をはじめ場所と内容を工夫しながら継続して開催できるよう、市として支援してまいりたいと考えております。</p>

	地区会議	質問・意見・要望	担当課	回答
38	増田	原画を世界一所有するということが、利活用が気になる。手書きの原画をメインに集めていたと思うが、デジタルの原画も集めていかなければならないと思う。集めたものをどう使うのか。今年、東京の赤坂で土田世紀さんの「俺節展」があり、すごく盛況だったと聞いている。舞台と連携した展示だったので、例えばその時のアニメ映画の原画を集めたりすることも必要だ。	増田まんが美術館事業室	まんが美術館では現在マンガ原画の収集及びアーカイブに取り組んでいるが、原画は「保存と活用」の両輪により更なる価値づけが生まれるものと考えており、今後は美術館の運営方針に基づき、企画展の効果的な開催や、教育や観光を含めた市内全域に渡る活用を展開していく。 デジタル原稿の保存に関しては、漫画家毎に違うフォーマットでの原稿製作という作業環境の違いによる保存構築の難しさも指摘されており、その環境保存も含めたデジタル原稿の保存を今後漫画家や出版社等との協議の中で構築していく考えである。 マンガ原画は漫画家が個人で作画し所有するものだが、アニメ映像に使用されるセル原画は、アニメ制作会社が組織的に作画し管理しているもので、原画そのものの素材や管理方法もマンガ原画とは異なるものであるため、現時点ではマンガ原画の保存と活用に特化した取組を続け、実績を重ねていく考えである。
39	増田	DMOということをよく聞かすが、組織や名前を見てもよく分からない。傘下に入らない組織もあると聞いた。将来的にはDMOにお金が入り、DMOを経由して各組織に振り分けられることになるのだと思うが、その組織に入らないところのお金の流れはどうなるのか。入らなければ困るのではないか。別の形でお金が行くのであれば、特別扱いになるのではないか。また、参加のタイムリミットはあるのか。	観光おもてなし課	平成29年3月に設立された一般社団法人横手市観光推進機構については、市内の観光協会や商工会議所・商工会をはじめ多種多様な事業所など、約200の団体・個人で構成され、地域にお金を落とすための仕組みを整え、観光地域づくりを進めようとするものです。 市からの補助金に関しては、事業を実施する団体へ直接交付することとしており、横手市観光推進機構へ一括して補助金を交付する方針ではありません。 なお、同機構におきましては、多様な関係者との合意形成を図り活動を展開していくため、様々な業種の新規会員の加入促進を随時進めているところであります。 観光地域づくりを展開していくうえで、横手市観光推進機構は極めて重要なパートナーと位置付けており、市としても必要な支援を進めていくこととしております。
40	旭	農免道路に横断歩道がないと去年も言った。数年前から相談しているが実現してない。子ども達が集まるのに、農免道路を渡って、学校行くのにまた逆に渡って二度行き来している。絶対横断歩道を作ってもらいたい。	横手地域課	横断歩道の新設につきましては、秋田県公安委員会が横断歩行者数や交通量等を総合的に判断し歩行者の安全を確保する必要のある場所に設置しており、管轄する横手警察署に引き続き設置要望してまいります。
41	山内西・南・中央	[横手市財産経営推進計画(FM計画)について] 地域性によって複合的にとはいうが、山内は点在して高齢者がいない地区もある。一つ有るものを複合的に使うのは結構だが、年寄りにとって遠いこともある。地域性を考慮する必要があるのではないか。	財産経営課	当市FM計画では、複合化・多機能化により、公共施設の「機能」は残しつつも、自治体規模、全国平均と比較して過剰となっている「建物」の保有総量を減らす方針となっております。 今後、個別の施設計画を具体的に作成する際に、市民のみなさまの意見を聞き、地域の特性や事情を考慮しながら、施設の再配置を検討してまいります。

	地区会議	質問・意見・要望	担当課	回答
42	山内西・南・中央	来年度山内中が南中に統合される。朝はスクールバスが出ると思うが、野球部だと遅くまで練習している。帰宅部はいいが、部活が終わってもスクールバスが利用できる方法はとれるのか。小中学校の統合後のスクールバスの基準を教えて欲しい。	学校教育課	来年度の横手南中学校スクールバスの運行につきましては、学校の日課や部活動の終了時間に合わせ下校時2～3回の運行を計画してまいります。
43	横手南・横手北	〔地区交流センター化について〕 運営主体が自主組織となっているけれど具体的なイメージが湧かない。どういったグループが自主組織としてその任務にあっているのか、どんな課題があるか教えて欲しい。	生涯学習課	「自主運営組織」は、自治会や地区会議、消防団や共助組織、PTA、婦人会、老人クラブ、公民館活動団体、地域内の民間事業者等、様々な団体の長所を活かしながら活動される組織と認識しています。 現在、地区交流センター事業に取り組んでいる14センターでも、様々な団体の方々に組織され、その長所を活かすよう地域づくり部会や生涯学習部会といった部会単位で活動されている組織もあります。 「自主運営組織」の課題としては、継続的な組織となるよう中学、高校生などの若者から高齢者、女性など幅広い年代の方々に参画していただく必要があると認識しております。  ※自主運営組織・・・地域コミュニティの維持や地域課題解決のため、地域の総合力で地域づくり活動を進める組織
44	横手南・横手北	〔地区交流センター化について〕 自主組織というのは、例えば民間の委託とかと違って、今まで存在していたグループを主体とするということか。	生涯学習課	「自主運営組織」は、自治会や地区会議、消防団や共助組織、PTA、婦人会、老人クラブ、公民館活動団体、地域内の民間事業者等、様々な団体の長所を活かしながら活動される組織と認識しています。 現在、地区交流センター事業に取り組んでいる14センターでも、様々な団体の方々に組織され活動されています。 地区交流センター事業は、「自主運営組織」と業務委託契約を締結し、地域に密着した課題の解決、自主的な地域活動、生涯学習活動、総合的な地域づくり活動を実施していただくこととしております。  ※自主運営組織・・・地域コミュニティの維持や地域課題解決のため、地域の総合力で地域づくり活動を進める組織

	地区会議	質問・意見・要望	担当課	回答
45	横手南・横手北	<p>神明社のところまで道路が広がっている。神明社をちょっと超えた右側のところに下りる下りの坂がある。あのところが急に道路が狭くなっている。右折するときにごく危険。安田原交差点の変電所のところから急に道路が狭くなっている。あの通りがずっと都市計画といいながらも全然されていない。山崎記念公園の市民会館の上がり口のところが特に狭く、冬の除雪のときは交差できないくらい狭い。流雪溝もあるがグレーチングの上を車が通るからガタガタと音がする。まして小学生の登校の道路にもなっていて、今まで何度も危険だと感じていたが改善されていないので、よろしく願いたい。横手市全体を見ながら優先順位を決めてやってもらいたい。</p>	都市計画課	<p>ご指摘のありました神明町～横山町に至る延長約650mの区間は、都市計画道路中央線の未整備区間となっております。</p> <p>この区間は、東側(記念公園側)から西側への傾斜地となっており、特にJR北上線の羽州街道踏切を中心とした箇所は、地形的な制約が極めて大きく道路改良が困難であることから事業化されておりました。</p> <p>都市計画道路中央線のうち、幸町～本町までの延長604m区間につきましては、平成28年3月に完成し供用開始されております。また、本町～根岸町(横手病院前)に至る八幡根岸線の延長315m区間につきましても、今年度(平成29年度)から県施行により事業着手されました。</p> <p>ご指摘いただきました当該未整備区間につきましては、実現可能な整備手法の検討を目的として、今年度(平成29年度)より概略設計に着手しております。今後、概略設計をもとに整備手法や技術的な検討を行い、地域の関係者やJRをはじめとする関係機関との協議を行いながら、整備に向けた検討を行ってまいります。</p>
46	横手南・横手北	<p>各集積所にコンテナを上げるため、お金を使って棚を作った。収集時に前はコンテナを棚に乗せてもらったが、先週だけ下に置いていった。町内全体を回ったら全部下におろしていた。市の方から業者に指導できるのか。</p>	生活環境課	<p>収集業者へ指導します。また、要望のあった集積所へは収集業者向けの啓発看板を設置します。</p> <p>上記記載のほか、様々な地域要望があります。できる限り要望に沿えるよう対応策を講じてまいります。</p>
47	館合	<p>[地区交流センター化について]</p> <p>地区交流センターのことだが、最初に交流センター化されるとき、立派な施設にして、活動できる施設にできるようにするからということから話がはいってきた。実際、交流センター化されたこの施設を見てどう思うか。基本的な環境整備をやって頂いて、その後頑張って活動してくださいという順番になると思うがどうか。</p>	生涯学習課	<p>地区交流センター化を進めた当初は、公民館を地区交流センター化とする施設面からの導入を進めて参りましたが、試行を続ける中で、人材育成や自主運営組織の育成が重要であるとの判断によりソフトからのアプローチへと変化しています。</p> <p>館合地区交流センターである館合公民館は、FM計画で長寿に位置付けられております。地域にとって地区交流センターや公民館は必要な施設でありますので、市が整備して行く必要があると認識しております。</p> <p>今後も地域の要望を伺いながら、FM計画との整合性を勘案して進めてまいります。</p>
48	館合	<p>[地区交流センター化について]</p> <p>2年前センター化の準備会を発足した時に、ソフトはみんなで作るが、活動拠点、建物部に関しては何とかしてもらわないといけないということで、当時はやれるということだった。行政を進めていくうえで地域住民の考え方をいかに吸収して政策に反映するのか、きめ細かにやっていただきたいので、そのへの考え方をきちんとしていただきたい。</p>	生涯学習課	<p>館合地区交流センターである館合公民館は、FM計画で長寿に位置付けられております。地域にとって地区交流センターや公民館は必要な施設でありますので、市がしっかりと整備して行く必要があると認識しております。</p> <p>地域から寄せられる様々な要望については、優先度を勘案しつつ対応可能なものから実施しております。</p> <p>施設の大規模改修等については、FM計画との整合性を図りながら進めてまいります。</p>

	地区会議	質問・意見・要望	担当課	回答
49	館合	<p>[地区交流センター化について]</p> <p>館合公民館は下水道にも繋がっていない最悪な状況で、前々から教育委員会に話していたが、お金がかかるということで断念せざるを得なかった。行政がどうしても拠点センターとして進めていくのならば、もっと真剣に考えてもらわなければ駄目だ。総じて市民が一緒になって生活していける、住んで良かったと思っていけるセンターにしていけたらと思う。中間報告がなされたということですが、簡単な資料があればよかった。それについて勉強もしてみたい。もし中間報告が出せるようであればいただきたい。</p>	雄物川地域課 生涯学習課	<p>館合公民館は、当地区に下水道が整備される以前の平成6年に建築されたもので、水洗トイレによる単独浄化槽を設置している施設です。</p> <p>平成26年度には、男子トイレとみんなのトイレの便器を暖房・温水洗浄便座に変更するとともに、みんなのトイレのドアを引き戸に改修し、施設内の環境改善を図っております。</p> <p>館合公民館は、FM計画で長寿に位置付けられております。地域にとって地区交流センターや公民館は必要な施設であり、市が整備して行く必要があると認識しております。公共下水道への接続に関しましても、FM計画との整合性を図りながら検討してまいります。</p>
50	館合	<p>大仙はスクールバスを買わないで、路線バスで子ども達を運んでいる。地域から協和小学校の学校の中まで路線になっていて、地域住民も路線バスのおかげで助かっている。横手市の場合は、子どもたちは助かるが、路線バスが廃止され、雄物川では館合だけが路線バスがない。目的外使用と言うのはわかるが、横浜のようにスクールバスを地域住民にも使わせてもらえるようお願いしたい。</p>	経営企画課	<p>スクールバスにつきましては現在、子どもたちの登下校のほか、課外授業等でも活用しているところであり、現時点では、子どもたちの利用に限定させていただいております。</p> <p>今後、一層少子化が進み生徒数の減が想定されることから、スクールバスの在り方についても検討を進めてまいります。</p>
51	館合	<p>「地域と学校の一体化」「地域で子ども達を育てよう」と言葉は出てくる。けれど、地域で学校に入っていけるところがあるか。学校が地域を受け入れているところは横手市でまだない。子どもは地域で育てる。その子供たちがいない。特に中学生がいない。地域の者と活動できないのかといつも思う。是非そういう声を大に、地域で子どもの顔が見えるように、話題に出るくらいに、年寄りが見れば、将来継いでくれると思えて元気が出る。ぜひ学校とのつながりが実施できるような声掛けをお願いしたい。</p>	教育指導課 生涯学習課	<p>子どもたちをより良く育てていくには、学校、家庭、地域の連携が重要になります。現在、各小・中学校においては、授業や学校行事に積極的に地域の方々にご協力いただいたり、学校行事に地域の方々を招待したりする等、連携を図っております。また、中学校では地域の職場で体験学習を行っております。</p> <p>これからは、このような活動が市民の皆様にも広く伝わるよう、学校報やホームページでの積極的な情報発信に努めてまいります。</p> <p>市でも、地域と学校を結び付ける学校支援ボランティア・コーディネーターを横手北小、雄物川小、十文字西地区(植田小・睦合小)に配置し、地域ボランティアや地域住民と学校関係者との連絡調整を行っております。雄物川小においては、学校統合により学校を訪れる機会が少なくなっていた方が、この活動を通じて再び学校を訪問できることになり喜んでいられるとの報告もあります。</p> <p>今後も学校支援ボランティア・コーディネーターの配置を強化するとともに、地域ボランティアの拡充を図り、地域と学校の連携を強化する取り組みを進めます。</p>